

企業会計

企業会計は、民間企業のように利用料金などの収益で運営する事業の会計。事業による収入と支出を差し引きして計算する収益的収支は、路面電車、地下鉄、水道、下水道で黒字になりましたが、市立札幌病院と中央卸売市場では赤字になりました。



市立札幌病院

主な実施内容
災害を想定した電気設備の増設工事

収益的収支

収入 **211.8**億円 - 支出 **212.4**億円
= **-0.6**億円

資金の状況 **57**億円の資金残
赤字の累計額 **170**億円



中央卸売市場

主な実施内容
環境に優しい市場を目指し、
場内の照明設備をLED化

収益的収支

収入 **19**億円 - 支出 **22**億円
= **-3**億円

資金の状況 **11**億円の資金残
赤字の累計額 **64**億円



路面電車

主な実施内容
新型低床車両の購入や老朽化した設備の更新

収益的収支

収入 **14.1**億円 - 支出 **13.7**億円
= **0.4**億円

資金の状況 **8**億円の資金残
赤字の累計額 **1**億円



地下鉄

主な実施内容
変電所の設備や運行管理システムの更新

収益的収支

収入 **467**億円 - 支出 **398**億円
= **69**億円

資金の状況 **2**億円の資金残
赤字の累計額 **3,141**億円



水道

主な実施内容
施設、水道管路の更新や耐震化

収益的収支

収入 **420.6**億円 - 支出 **344.2**億円
= **76.4**億円

資金の状況 **98**億円の資金残
※水道施設更新積立金80億円を含む



下水道

主な実施内容
水質の改善や災害対策、老朽化した施設の改築

収益的収支

収入 **413.5**億円 - 支出 **404.1**億円
= **9.4**億円

資金の状況 **64**億円の資金残
赤字の累計額 **261**億円

資金:ここでは年度末に残っていたお金などのこと

資産

基金

特定の事業を行ったり、財源が不足したりするときに使う市の貯金

残高3,023億円

財政調整基金175億円など21基金

財産

●公有財産

土地/5,439万㎡ 建物/延べ面積566万㎡
有価証券/15億円 出資による権利/159億円

●物品(100万円以上のもの)/4,799点(台)

●債権(民間への貸付金など)/42億円

平成26年度予算の 9月までの執行状況

一般会計

歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
9,149億円	40.7%	39.2%

特別会計

区分	歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
国民健康保険	2,072億円	33.2%	42.1%
介護保険	1,240億円	39.3%	40.8%
その他	296億円	31.9%	27.4%

企業会計

区分	収入予算額	予算執行率	支出予算額	支出執行率
市立札幌病院	233億円	44.0%	282億円	58.9%
中央卸売市場	24億円	40.0%	31億円	19.2%
路面電車	16億円	38.7%	24億円	49.0%
地下鉄	476億円	46.8%	482億円	33.1%
水道	529億円	54.3%	378億円	37.1%
下水道	537億円	39.4%	550億円	24.6%

市債残高

区分	市債残高
一般会計	9,598億円
特別会計	29億円
企業会計	7,215億円
合計	1兆6,842億円

一時借入金 残高

企業会計
(地下鉄)
20億円

基金残高 2,968億円



市の財政の詳細は、ホームページでもご覧になれます

札幌市の財政

検索